

みづま いぬづか にしおた  
三漕・犬塚・西牟田校区の

# 文化財マップ



上写真：大川鉄道4号機関車（明治44年製作）久留米市指定有形文化財 平成26年指定

久留米市教育委員会

## ■三瀨・犬塚・西牟田校区の主な文化財■

No.	文化財の名前	文化財の時代	文化財の説明
三瀨校区			
①	草場遺跡 <small>くさばいせき</small>	安土・桃山	土師器などが見つかっています。
②	高三瀨遺跡 <small>たかみずまいせき</small>	弥生～中世	弥生土器や土師器などが見つかっています。
	塚崎東畑遺跡 <small>つかさきひがしはたいせき</small>	弥生	県道拡幅の発掘調査で、弥生時代の甕棺が発見されています。そのうち一体には石鏃や魚骨のヤスなど、武器の刺さった人骨が出土しています。
	三瀨小学校校庭遺跡 <small>みつまししょうがっこうていせいせき</small>	弥生	校舎建替時に甕棺墓群が発見されました。
	古賀遺跡 <small>こがいせき</small>	弥生～古墳	弥生土器や土師器などが見つかっています。
③	御廟塚貝塚 <small>ごびょうづかかいづか</small>	弥生	弥生時代の墓跡。江戸時代に石棺の上から銅剣2口が発見されたといわれています。
④	烏帽子塚 <small>えぼしづか</small>	弥生	弥生時代の墓跡とされていますが、周辺の状況から集落の可能性ががあります。
⑤	横溝氏館跡 <small>よこみぞしやかたあと</small>	鎌倉	地頭職の横溝一族の居館跡です。
⑥	高三瀨館跡 <small>たかみずまやかたあと</small>	安土・桃山	『筑後領主附』に「高三瀨式部少輔、高三瀨二居り」との記述があります。
⑦	早津崎遺跡 <small>はやつざきいせき</small>	弥生～中世	弥生土器や土師器などが見つかっています。
⑧	田川城跡 <small>たがわじょうあと</small>	室町	田川氏の居館といわれています。
⑨	田川村囲遺跡 <small>たがわむらがこいせいせき</small>	弥生	弥生土器や石器が見つかっています。
⑩	山伏塚古墳 <small>やまふしづかこふん</small>	古墳	地表に石材が露出しています。
⑪	田川井樋ノ口遺跡 <small>たがわいひのくちいせき</small>	弥生	弥生土器が見つかっています。
⑫	木ノ下遺跡 <small>きのしたいせき</small>	鎌倉	土師器などが見つかっています。
⑬	五俣堰 <small>いつまたげき</small>	江戸	江戸時代に造られた堰で、千間溝から引いた水を分水していました。
⑭	北原遺跡 <small>きたはらいせき</small>	弥生	弥生土器が見つかっています。
犬塚校区			
⑮	犬塚城跡・犬塚城陣堀跡 <small>いぬづかじょうせき いぬづかじょうじんぼりあと</small>	室町	探題の渋川氏が築城したと伝えられています。
⑯	小犬塚の一里塚 <small>こいぬづかのいちりづか</small>	江戸	小犬塚の一里塚には松が植えられていたことが、安永8年（1779）の小犬塚村庄屋の覚書に記されています。
⑰	南田塚 <small>みなみだづか</small>	古墳	削平が進んでいて、形態は不明ですが、円墳であったといわれています。
⑱	壱町原遺跡 <small>いちちょうはるいせき</small>	弥生	弥生土器などが見つかっています。
⑲	玉満上町遺跡 <small>たまみつかみまちいせき</small>	弥生	弥生土器などが見つかっています。

⑳	うらはたこふん 裏畑古墳	古墳	円墳であるといわれています。南側に石棺の一部が露出しています。
㉑	とてむたいせき 道手牟田遺跡	縄文～江戸	縄文時代の落とし穴や、江戸時代の墓跡が見つかっています。
㉒	たまみつつきそのいせき 玉満松木ソノ遺跡	弥生～古墳	溝・竪穴住居・掘立柱建物・周溝状遺構・ピットなどが見つかっています。
㉓	おおいぬづかいぬのみやこふん 大犬塚犬ノ宮古墳	弥生～古墳	円墳です。墳丘部は既に削平を受けています。
㉔	なまづじょうあと 生津城跡	安土・桃山	天正4年(1576)築城。本丸は東西73間、南北62間といわれていますが、詳しい場所などは不明です。

西牟田校区

㉕	たがわなごとかのみのはか 田川長門守墓	安土・桃山	天正元年(1573)に討ち死にしたとの記録がある武将の墓です。
㉖	にしむたせいどうじうらいせき 西牟田清導寺浦遺跡	縄文～弥生	縄文時代の落とし穴、弥生時代の竪穴住居、近世の墓が見つかっています。
㉗	じゅうれんじこふん 十連寺古墳	古墳	一部、削られています。円墳であるといわれています。
㉘	みしまじんじやいせき 三島神社遺跡	鎌倉	土師器などが見つかっています。
㉙	ほんまちみしまじんじや 本町三島神社	鎌倉	肥前鳥居があります。
㉚	じゅうはちぜにがめいせき 十八・銭亀遺跡	江戸	蔵骨器が見つかっています。
㉛	にしむたどるいあと 西牟田土塁跡	安土・桃山	城を囲む土塁の一部のみ残存しています。
㉜	にしむたこがこふん 西牟田古賀古墳	古墳	墳丘部がわずかに残るのみで詳しいことはわかっていません。円墳の可能性あります。

■三瀧・犬塚・西牟田校区の指定文化財■

	名 称	指定年月日	文化財の説明
A	きゅうみいでらほんぶじょう 旧三井寺ポンプ場 および変電所	国登録文化財 (平成20年7月8日)	昭和8年に建設された、レンガ造・平屋建・椽瓦葺の建物です。
B	ほそがたどうけん 細形銅剣	市有形文化財 (平成8年10月28日)	高三瀧地区で発見されました。長さ28.1cmで、弥生時代前期のものです。
C	ゆみがしらじんじや こうこしりょう 弓頭神社の考古資料	市有形文化財 (平成8年10月28日)	細形銅剣、石戈、石包丁、耳環が、弓頭神社の神宝品としてされています。
D	おおかわてつどう4ごうきかんしゃ 大川鉄道4号機関車	市有形文化財 (平成26年12月12日)	アーサー・コッペル社製(ドイツ)の蒸気機関車です。久留米市街地から大川までを結ぶ西鉄大川線を走行していました。地元では「ポッポ汽車」の愛称で親しまれています。

## みづま いぬづか にしむた ■三瀨・犬塚・西牟田校区の文化財■

久留米市三瀨町は、福岡県の南西部にあり、八女丘陵の最西端に位置します。古くは「水沼の県」と称されていたといわれ、町名の由来となったとされる「水沼君」は海上交通を担っていた豪族ではないかと考えられています。海との繋がりが、塚崎や早津崎など岬を連想させる字名や、地中深くに堆積する牡蠣殻層などからもうかがうことができます。塚崎にある御廟塚貝塚からは銅剣が出土していて、三瀨の地に付近一帯を治めていた権力者の存在が推測されます。これを物語るように、町内には弥生時代を中心に多くの遺跡が眠っています。

弥生時代には、段丘上に集落が点在するようです。玉満にある「玉満松木ソノ遺跡」や西牟田にある「西牟田清導寺浦遺跡」では、竪穴住居が確認されています。高三瀨地区にある「高三瀨遺跡」では甕棺墓や石棺墓が多数確認され、大規模な集落が営まれていたと考えられます。

古墳時代になると、西牟田地区にある十連寺古墳をはじめ、かつては多くの古墳が築かれていましたが、現在では、開発や開墾などによってほとんどが消滅しています。

古代には『倭名類聚抄』に「三瀨郷」が見え、遅くとも平安時代中頃までには条里制が実施されていたと考えられます。その後、荘園制度に伴い、「三瀨庄」が出現します。戦国時代になると、群雄割拠の波にのまれ、争乱の時代へと突入していきます。三瀨一帯は大友氏と龍造寺氏の争いの中で、犬塚氏や西牟田氏などが居城を構え、戦乱の世を奮戦していました。

江戸時代は久留米藩領に含まれます。江戸時代中頃には数多くのため池の築造や、平田半兵衛が多大に尽力をしたといわれる千間溝の開削などの恩恵を受け、耕地が広がり現在の田園風景の基礎を築きました。この他、「五侯堰」など農業に関する貴重な資料が現地に残されています。また、近代には、「三井寺ポンプ所及び変電所」が建設されました。農業の盛んなこの地域の開発を象徴する貴重な歴史遺産です。

## みづま 【三瀨校区の遺跡】

### ② 高三瀨遺跡

ひろかわ  
広川左岸の自然堤防上に位置する弥生時代を中心とした遺跡です。遺跡の存在は古くから知られており、遺跡内で採集された土器から弥生時代後期前半の基準となる「高三瀨式土器」が設定されていることも学会では広く知られています。

高三瀨遺跡では、土器に遺体を納めた甕棺墓、石で棺を作った石棺墓など複数の墓が50基以上発見されています。墓の中には赤色の顔料が残る場合や、副葬品が伴う場合などがあります。甕棺に「連玉」という貴重な玉が副葬されており、銅剣が見つかったという言い伝えも古くから残っています。



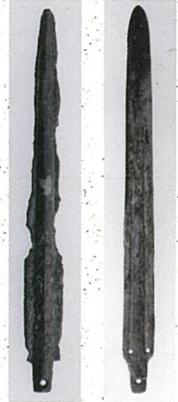
高三瀨式土器・甕



甕棺墓



石棺墓



高三瀨で発見された銅剣（市指定文化財）

### しょう どう たく 小銅鐸

三瀨校区コミュニティセンター横の消防倉庫の下から、幅4mの弥生時代の大きな溝が発見されました。調査は狭い範囲で実施しましたが、溝の中からは多量の土器や木器が出土しました。それらと一緒に筑後地域では1例のみとなる小銅鐸が出土しました。小銅鐸は高さ6cmの小型の銅鐸のような形状をした金属製品で、鈴のように音を鳴らし、おまつりの際に使用していたと推測されています。全国でも60例程度しか出土していない貴重な資料です。

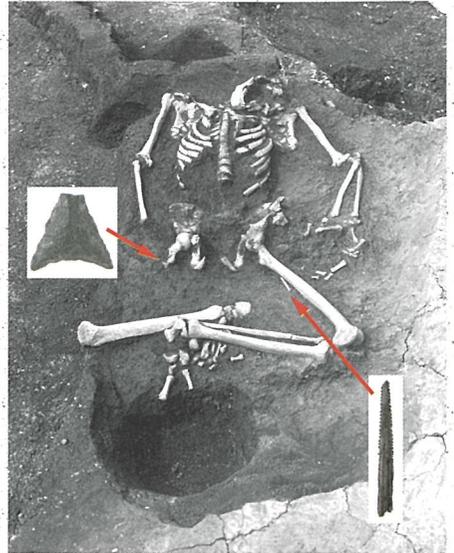


小銅鐸

## ② 塚崎東畑遺跡

昭和62年と平成元年に、県道拡幅のために福岡県教育委員会が高三瀨遺跡内で初めての発掘調査を実施しました。調査の結果、弥生時代の建物跡や墓などが発見されました。犬や猪、鶏、スッポン、魚類などの動物骨や貝、人骨が残っており、当時の生活の様子を知ることが出来ました。土壌墓内に残っていた人骨は、石製とエイの尻尾の骨を用いた矢尻が刺さり、大腿骨にまで達した状態で発見されました。

御廟塚貝塚では現在でも貝殻を多量に見ることができ、貝や魚を採る川や海と密接に関わった集落であったことが推測されます。



武器の刺さった状態で確認された人骨

(上) 安山岩製の矢尻

(下) エイの尾骨で作られたヤス(骨鏃)

## 【犬塚校区の遺跡】

## ②② 玉満松木ソノ遺跡

玉満松木ソノ遺跡は、弥生時代後期から古墳時代にかけての集落跡です。発掘調査では、溝や竪穴住居、掘立柱建物などが検出されました。土器のほか、石器など多くの遺物が出土しています。第2次調査では、直径4.2m、深さ3mもある巨大な井戸が発見されました。



弥生時代の井戸

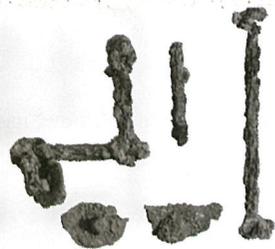


調査区全景（南上空から）

むかえのこふんぐん  
③③ 向工野古墳群

向工野古墳群では、円墳2基が確認されています。墳丘は大きく削られています<sup>しゅうこう</sup>が、周溝の一部が調査されています。それぞれの周溝の内からは馬具<sup>すえき</sup>や須恵器<sup>すえき</sup>、土師器<sup>はじき</sup>などが出土しています。遺物の年代から、5世紀後半の古墳だと考えられます。

また、1号墳の上には、室町時代<sup>むろまち</sup>の土壌墓<sup>どこうぼ</sup>が確認されており、土師器の皿が出土しています。



(上) 馬具等の鉄製品  
(下) 須恵器壺



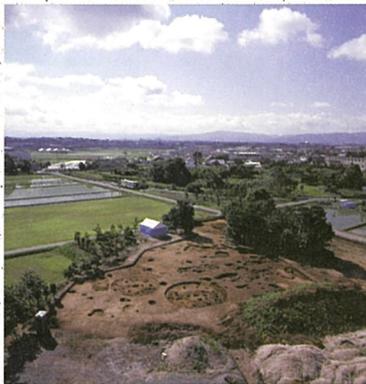
【西牟田校区の遺跡】

にしむ たせいどうじょうらいせき  
②⑥ 西牟田清導寺浦遺跡

西牟田清導寺浦遺跡は、弥生時代中期を中心とした集落跡です。

調査では、円形や方形の竪穴住居、落とし穴、柱跡、墓が確認されています。遺物も多数確認されており、弥生時代中期から後期にかけての土器、石の矢尻<sup>やしり</sup>や石包丁<sup>いしぼうちよう</sup>などの石器も出土しています。

落とし穴は縄文時代のもので、三瀧町内で確認されている数少ない縄文時代の遺構の一つです。



調査区から東を望む



弥生時代の住居跡

## ■三瀨・犬塚・西牟田校区の歴史年表■

時代	西暦	三瀨・犬塚・西牟田地区のできごと	日本のできごと
旧石器 縄文	20000 10000 6500 400	西牟田清導寺浦遺跡で狩りが行われる	狩りや漁猟・採集等で生活する 土器や弓矢を使い始める 日本列島がほぼでき上る 落とし穴での狩りが盛ん 稲作が伝わる
弥生	紀元前 紀元後	高三瀨を中心に集落が形成される 高三瀨遺跡に集落ができる 西牟田清導寺浦遺跡に集落ができる 玉満松木ソノ遺跡に集落ができる	倭国大乱
古墳	300 400	水沼君の犬が呉国から朝廷に献上された ガチョウを食い殺す	卑弥呼が邪馬台国を治める 古墳が造られ始める
飛鳥	500 600	十連寺古墳が造営される	磐井の乱(527) 仏教伝来(538)
奈良 平安	700	「延喜式」民部条の筑後国 10 郡に「三瀨」 の名がみえる	大化の改新(645) 筑紫大地震(678) 平城京に都を遷都する(710) 平安京に都を遷都する(794)
鎌倉	1200 1239	和田義盛が三瀨庄地頭職になる 犬塚城が築かれる 西牟田城が築かれる	鎌倉幕府の成立(1190頃)
室町			応仁の乱(1467)
安土・ 桃山 江戸	1600	生津城が築かれる 西牟田地区に丘陵地の地形を利用してため 池が築造される 平田半兵衛、私財を投げうち千間溝を築く	江戸幕府の成立(1603)
明治	1900	大川軌道が開業する 三瀨村・犬塚村・西牟田村が合併し三瀨町 となる	明治維新(1868)
平成	2000	平成の大合併により久留米市と合併する	平成の大合併(2005)

### 《文化財に関するお問い合わせ》

久留米市市民文化部文化財保護課

久留米市城南町 15-3

電話 0942-30-9225 Fax 0942-30-9714

E-mail: bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp

久留米市埋蔵文化財センター

久留米市諏訪野町 1830-6 (えーるピア敷地内)

電話 0942-34-4995 Fax 0942-34-5045

三瀨・犬塚・西牟田校区の  
文化財マップ

平成 30 年 3 月 31 日

発行：久留米市教育委員会

編集：市民文化部文化財保護課

印刷：服部印刷株式会社

# 三瀧・犬塚・西牟田校区文化財マップ

## 大川鉄道

明治45年(1912)から昭和41年(1966)まで運行していた路線です。三瀧小学校の北側には当時使用していた汽車が今も残っています。(表紙写真)

## 文明の板碑



文明18年(1486)に建立されました。正月十九日死去と記されており、もとは墓碑であったと思われます。

## うそ 吉町原天満宮の鶯像



吉町原天満宮の境内にはうそ鶯替え神事の鶯の石像があります。

## 旧三井寺ポンプ場及び変電所



大正2年(1913)に完成した電力による揚水施設です。中にポンプ機が設置され、標高の高い農地へも配水が行われ、広い範囲に水を供給していました。レンガ積みの建物は昭和8年(1933)に建築されたものです。

## 20 裏畑古墳



元の形は不明ですが墳丘の径は10mほど残っています。板石が一枚露出しており、石棺の一部の可能性がります。発掘調査は行われていません。

## 柳川往還

たなかよしまさ 田中吉政が慶長7年(1602)に整備した久留米城と柳河城を結ぶ道路です。現在の県道23号久留米柳川線の元となる道です。

## 栗山地蔵板碑

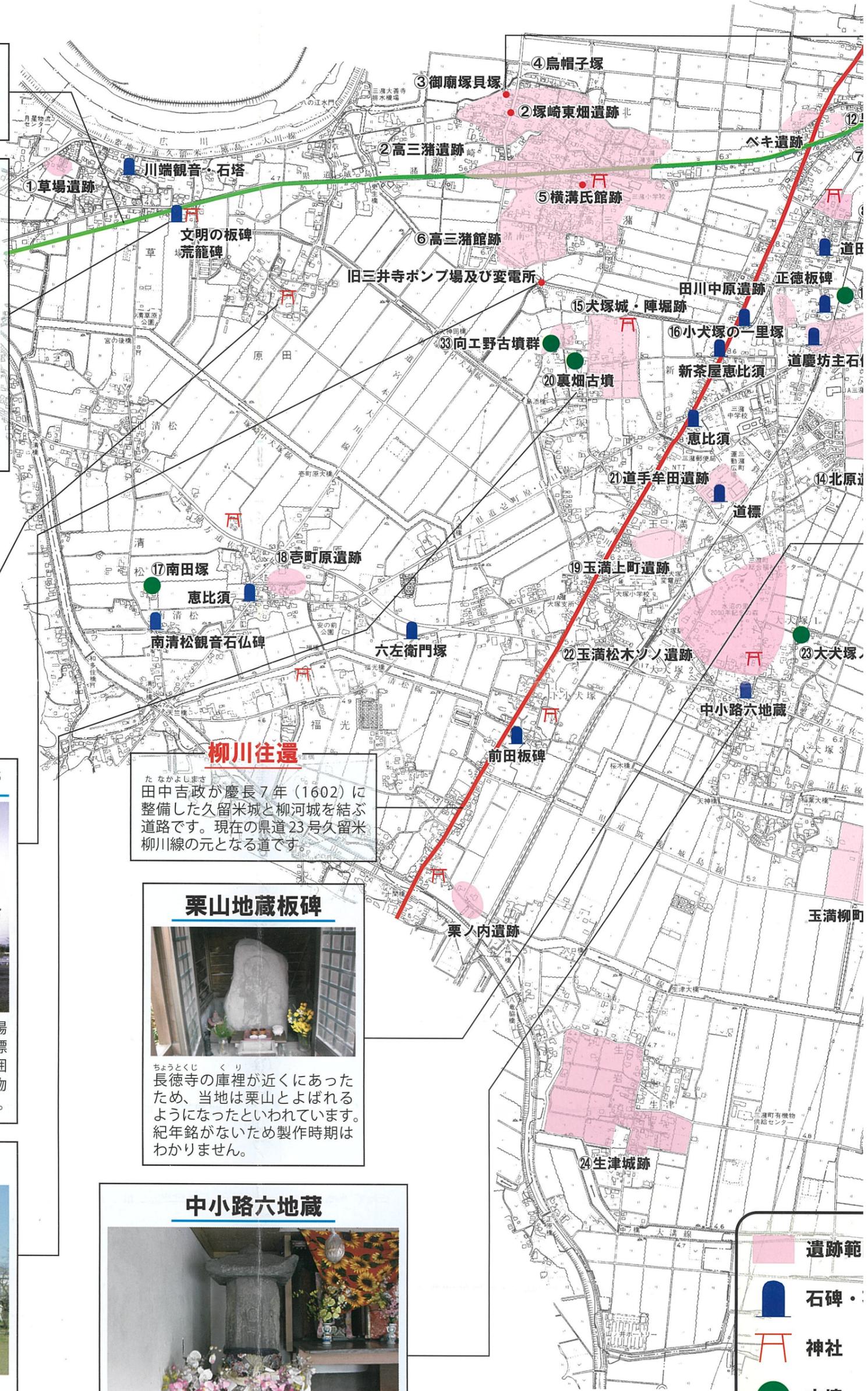


ちようたくじ くり 長徳寺の庫裡が近くにあったため、当地は栗山とよばれるようになったといわれています。紀年銘がないため製作時期はわかりません。

## 中小路六地藏



紀年銘はありませんが、室町時代中期頃につくられたといわれています。この地藏塔の形式は筑後地方では珍しいものです。





### ③ 御廟塚貝塚



弥生時代の墓の上に貝殻が散乱しています。江戸時代の記録に、石棺の上から2口の銅剣が出土したという記録があります。現在でも貝殻や土器片、石器片を現地で見ることが可能です。

### 熊野又右工門尉石像



くまの またえもん  
熊野又右工門尉は、田川村の地頭、また田川城主田川長門守の末裔であるという言い伝えがあります。県道759号寺丁原白口線沿いの墓地から移転しています。

### ⑬ 五侯堰



### ⑳ 十連寺古墳



西暦500年前後の築造といわれています。現存で高さ5m、径30m前後の円墳です。採集された石材の一部から、石室内部が朱塗りであったことが確認されています。

### 平田半兵衛の墓



### ⑳ 西牟田土塁跡



戦国時代に西牟田氏が、城の守りのために土を盛った土塁と堀が現在一部残っています。

### 千間溝開設之碑



ひらたはんべえ  
元禄年間に平田半兵衛が私財を投じて、広川の水を西牟田村に導水するため広川町五の江せきを築き、西牟田村まで長い溝を掘りました。溝から引いた水を多くの溜池に溜めて干ばつを防ぎ、稲作を行って来ました。五侯堰で大犬塚、小犬塚、田川、高三瀬、早津崎の5方向に向かう灌漑溝に分かれ、三瀬町の広い範囲に導水されています。

### ㉑ 三島神社の肥前鳥居



肥前鳥居は肥前地方を中心に広まった鳥居の形式で、慶長年間(1596～1615)に特に造営が盛んでした。左右の上部が丸みを帯び、大きく反りがえていることが特徴です。

### こうしんてん 庚申天像



こうしんてん せいめんこんこうどうじ  
庚申天は青面金剛童子ともいいたいしやくてん けんぞく  
帝釈天の眷属で、病災を退けるといわれています。天保8年(1837)に深堀孟辰氏が建立しました。